

戦略爆撃としての前橋空襲レジュメ

2022.9.29 (木)

14時～、市 会議室

11F南

1 はじめに

○ 2016 (平成28) 年8月5日「一斉慰霊」での市民学芸員説明

- ・ 「空襲犠牲者数は535人」とすべきか？
- ・ 空襲犠牲者を別に慰霊する意味は？
- ・ なぜ非戦闘員である市民が犠牲に？

2 「犠牲者は535人」 ～市広報、チラシから～

○ 「戦災と復興」中の資料から全体数は「592人」のはず (旧市のみ535人)

- ・ 2019 (令和元) 年8月15日広報 → 「死者は535人」
2019年一斉慰霊チラシ → 「535名もの尊い命が奪われた」
報道や他団体の扱い → ほとんどが犠牲者「535人」又は「500人以上」
- ・ 2020年、2021年に市担当へ説明 (2019年11月22日付け「1945年8月5日の前橋空襲被害」、このほか、祓展示の数字についても指摘)
- ・ 2022年8月広報 → 「当時の前橋地域の死者は535人。負傷者は600人以上」
2022年一斉慰霊チラシ → 「535人もの尊い命が奪われた『前橋空襲』」
- ・ 近県空襲犠牲者数の見直しの例

○ だれが亡くなったのか？ 数字だけでいいのか？ 死没者名簿？

- ・ 「御下賜金拝受戦災死没者名簿」→460人、「死亡給与金489人分支給」
- ・ 「軍人は手厚くまつられ…民間人には何もなし」(石見元秀戦後初代姫路市長)
- ・ 「平和の礎」、犠牲者の「名前の読み上げ」の例、肖像写真展示の例も

3 戦略爆撃とは何か？

○ なぜ市民が犠牲に？ なぜ「まち」中に照準を？ なぜ前橋が空襲に？

- ・ 戦術爆撃と戦略爆撃、精密爆撃と都市 (地域) 爆撃、「無差別」性、
- ・ 被害と加害 → 日本と中国、イギリス・アメリカとドイツ、アメリカと日本
- ・ ゆきつくところ (焼夷弾、破碎爆弾、原爆) → 市民の犠牲約50万人
- ・ 米軍 → 日本空爆の「無差別」を公式に認める。 * 「日本に市民はいない」
- ・ 前橋空襲は、そして原爆は必要であったのか？
- ・ 「戦争を早く終わらせ多くの米兵の命を救ため」→ 何をやっても許される？

4 おわりに

○ 前橋空襲を知っていただくきっかけに

- ・ 慰霊碑の複数設置、「前橋版平和の礎」設置
- ・ 「麻屋」跡地に空襲照準円と点 (爆心地) の説明板等を設置
- ・ 映画「時計は生きていた」の修復、DVD化 * 映画「ひろしま」の例
などなど！